

N 各小児糖尿病キャンプを評価すること。

(担当 丸山 博)

試験問題 A (小学生以上) (時間30分)

1 糖尿病で大切なことを3つ、まちがったことを2つの番号をかきなさい。

- ① インスリン注射をする。
- ② 糖尿病をなおすくすりをのむ。
- ③ 運動をする。
- ④ しずかにしている。
- ⑤ 食事をまもる。
- ⑥ 食事をへらす。
- ⑦ 甘いものを食べない。

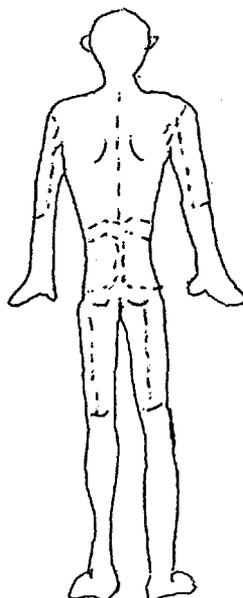
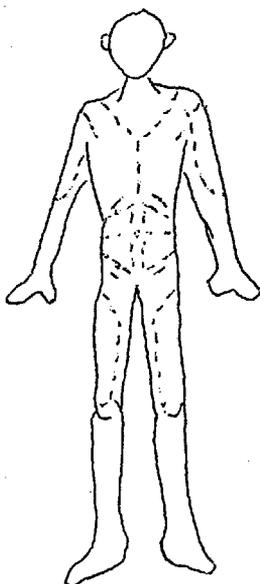
大切なこと

まちがったこと

2 インスリン注射を毎日する深さ

- ① 筋肉内
- ② 皮下
- ③ 血管内(静脈内)

3 インスリン注射をしてよい所(ぬりつぶす)



4 低血糖のおこりやすい時間とおこりにくい時間

- ① 朝食前 ② 10時頃 ③ 昼食前 ④ おやつ頃 ⑤ 夕食前
⑥ ねる前 ⑦ 夜中

おこりやすい時間

おこりにくい時間

5 低血糖のなおし方

- ① いつも予防用の食品をもつていて、おかしいときすぐ食べる。
② 気分が悪くなってからジュースなどのませてもらう。
③ 少しぼんやりしてからブドウ糖やグルカゴンの注射をしてもらう。

一番よい方法

一番悪い方法

6 食事の量はどれが正しいか。

- ① がまん出来るだけ少量にする。
② 生長はするが、運動はさせない量とする。
③ 生長も運動も出来るが肥らない量
④ 尿に糖が出る分だけ普通児より多く食べる。

7 食事の内容はどれが正しいか。

- ① 糖質、デンプンが多いと尿糖が多くなるので、脂肪を多くする。
② 尿糖を少なくし、よく生長するために出来るだけタン白質を多くする。
③ タンパク質をやゝ多くし、バランスのとれたものにする。

8 学校給食の食べ方は、どれが正しいか。

- ① ぜんぶ食べてよい。
② いつも、おしえられただけ食べる。
③ 家から弁当をもつて行く。

正しい方法

9 運動について、ふつうはどれが正しいか。

- ① しづかにしていなければならない。 ③ むしろ、普通の子供より多くしたほうがよい。
② ふつうの子供とおなじにしてよい。

正しい答

10 尿けんさのけつが、右と左を結びなさい。

尿糖がたくさん出て、ケント体もある。

ねる前に尿糖が出ない。

あさは尿糖(－)だが、ねる前には(＋)

尿糖(－)だが、ケント体が出る。

血糖が低いのに尿糖が多い。

夜中に低血糖の心配がある。

糖尿病昏睡の心配がある。

糖尿病としては心配ない。

ほどよろしい。

腎性糖尿

糖尿病児の理解度について (理解度テスト集計成績)

平岸病院・内科	鈴木忠男
東京大学第三内科	三木英司(出題者)
熊本大学体研成人科	陣内富男
東京女子医大小児科	丸山博
	○石場俊太郎
鹿児島大学内科	河野泰子

試験問題 B (中学生以上) (時間15分)

1 糖尿病とは

- ① 腎臓が悪く、尿に糖の出る病気
- ② 膵臓からのホルモンの不足に基づく全身病
- ③ 遺伝によつておこる病気

正しいもの

2 糖尿病はなおるか。

- ① よく治療すればなおる。
- ② なおらない。従つて治療しても無駄である。
- ③ なおらないが、正常人同様の生活は出来る。

正しいもの

3 インスリンの種類と使い方を線で結ぶ

単独または合わせて日常使う

・即効型インスリン

・レンテ、ラピタード

NPH(インスリン)

・中間型インスリン

・レギュラー

単独では急いで治療する時に使

アクトラピッド(インスリン)

う。

・遅効型インスリン

・ウルトラレンテ

プロタミン亜鉛(インスリン)

4 今日日本で使われているインスリンは主として1cc中に下記の量のインスリンを含んでいる。

① 20単位 ② 40単位 ③ 80単位

正しいもの

5 旅行する時のインスリンの正しい運び方、保存法

① マホウ瓶に氷を入れて運ぶ

② 荷物の中に、こわれないように入れる。

③ 旅館では冷蔵庫に入れてもらう。

④ 旅館では日の当たらない、涼しい所におく。

正しいもの

6 糖尿病治療のみだれを起こす最も重大な原因2つ

① インスリン注射をしないこと。

④ 怪我

② 受験勉強

⑤ 食べすぎ

③ 心配事

最も重大な原因

7 運動について、左と右を線で結ぶ。

・天候に左右されず、年とつても出来る点よい。

・バスケット、サッカー、野球

・激しい運動なので急にやめて肥らないよう注意

・卓球、体操、剣道

・年とつても出来るが、毎日出来ないのでは他の運動も必要

・登山、スキー、水泳

・低血糖や外傷が危険を伴うので必ず何人かで行く必要がある。

・相撲、柔道、レスリング

・体重が必要で肥満を伴う点、不適當である。

・庭球、ゴルフ、マラソン

8 修学旅行

① 糖尿病が悪化するので、泊りがけで行ってはいけない。

② 1泊ならよいが2泊以上はいけない。

- ③ 必要な準備と注意が守られれば、泊りがけの旅行も差支えない。
- ④ 海外旅行等も無制限に行つてよい。

正しい答

9 糖尿病の人にとって好ましい職業と好ましくない職業とに分けよ。

- ① 時間が規則的な職業
- ② 時間が不規則な職業
- ③ 旅行の多い職業
- ④ 医療関係職
- ⑤ 専門職
- ⑥ サービス業
- ⑦ 飲食店
- ⑧ 運送業
- ⑨ 農業
- ⑩ 漁業

好ましいもの

好ましくないもの

10 結婚について正しいと思うもの2つをあげよ。

- ① 結婚してはならない。
- ② 糖尿病同志の結婚は避ける。
- ③ 全く自由である。
- ④ 子供を生んではならない。
- ⑤ 母子両者への影響を考え子供は少数にする。

正しいもの

A 問題

12才以下

	全受験者	キャンプ 非参加者	キャンプ参加者				
			全キャンプ	北海道	東京	熊本	鹿児島
n	42	7	35	11	14	7	3
\bar{X}	67.17	54.71	69.60	68.64	73.60	59.00	79.00
n	14.82	20.41	11.96	8.36	13.15	7.62	6.38
キャンプ 非参加				2	2	1	2

12才以上(東京のみ)

	全受験者	キャンプ 非参加	キャンプ 参加
n	39	2	37
\bar{X}	79.46	48.50	81.14
n	10.94	(0.50)	8.46

B 問題

	全受験者	キャンプ 非参加者	キャンプ参加者				
			全キャンプ	北海道	東京	熊本	鹿児島
n	97	18	79	13	36	21	9
\bar{X}	77.90	66.00	80.67	82.38	83.06	75.90	79.44
n	12.67	13.79	10.61	10.09	9.28	11.79	9.56
キャンプ 非参加				7	2	6	3

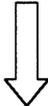
これまでの期間の研究で、小児糖尿病キャンプは地域性があり、多様でありうることが判った。従って基準を作つてのキャンプの評価は不可能である。

しかし勿ら長期間の後にはキャンプの優劣は自ら明らかになることが予想される。

たとえば20年後あるいは30年後の段階において、失明率や死亡率が差が出てくれば、一つのキャンプの全体構成の上での優劣が明らかとなるであろう。この場合現在の時点で評価を行つても、キャンプの毎年の進歩によつて時代遅れのものとなつてしまう。そして将来における成績と合わなくなる怖れがつよい。

現在の時点では、各キャンプの進歩を期待し、あまり鑄型にはめないようにした方がよいと考える。

今後、各キャンプの連絡を密にし、相互の情報交換が行われるように配慮したい。

 **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

これまでの期間の研究で、小児糖尿病キャンプは地域性があり、多様でありうる事が判った。従って基準を作ったのキャンプの評価は不可能である。

しかし乍ら長期間の後にはキャンプの優劣は自ら明らかになることが予想される。

たとえば20年後あるいは30年後の段階において、失明率や死亡率が差が出てくれば、一つのキャンプの全体構成の上での優劣が明らかになるであろう。この場合現在の時点で評価を行っても、キャンプの毎年の進歩によって時代遅れのものになってしまう。そして将来における成績と合わなくなる恐れがつよい。

現在の時点では、各キャンプの進歩を期待し、あまり鑄型にはめこまないようにした方がよいと考える。

今後、各キャンプの連絡を密にし、相互の情報交換が行われるように配慮したい。